

漁海況速報

7-No. 27

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和7年 9月26日～10月 2日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

- 黒潮は、犬吠埼の東南東30マイル付近を北北東に流れ、
36°50'N 142°30'E付近を流去している。
- 本県沿岸域は、23～24℃台の水温となっている。

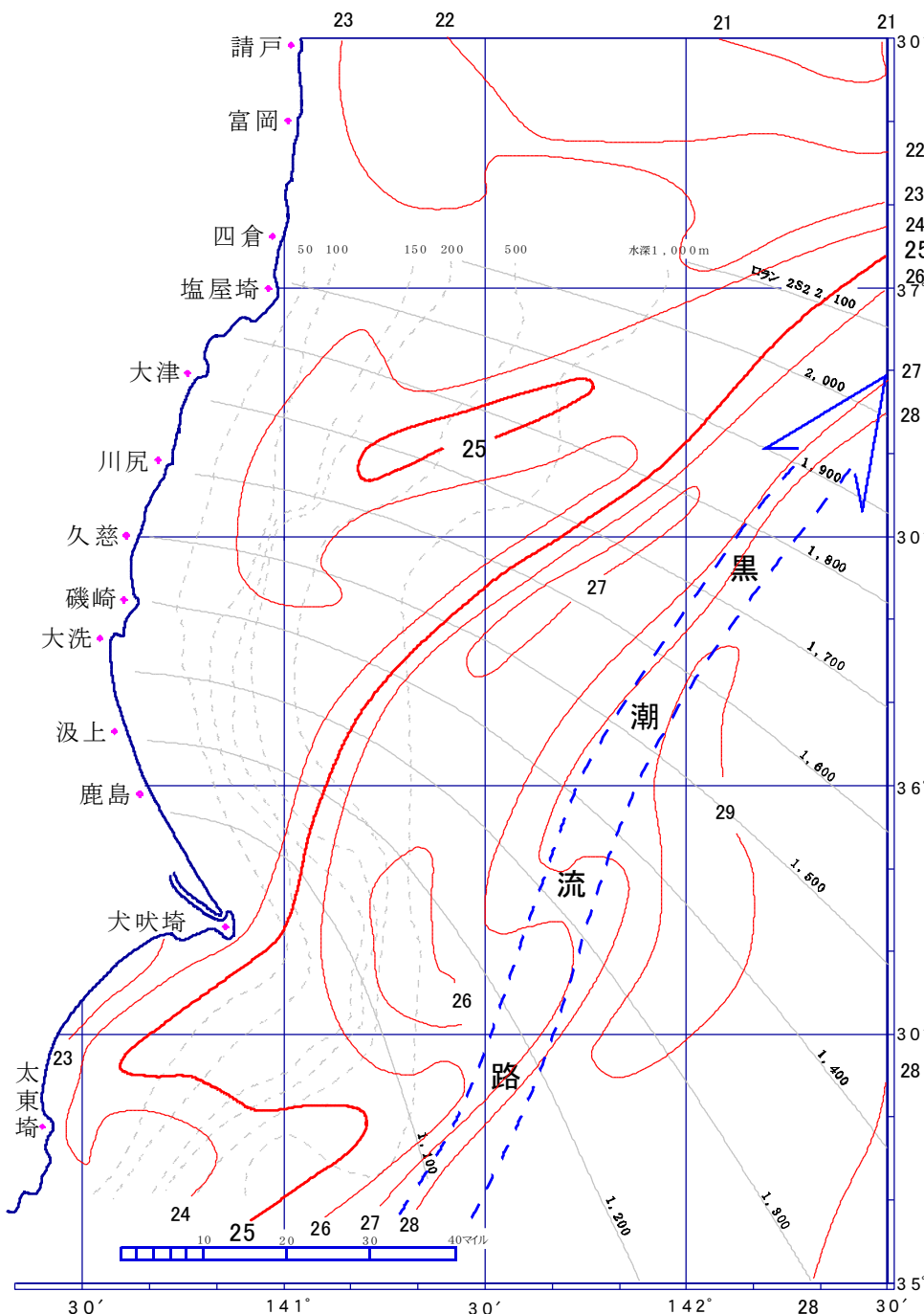
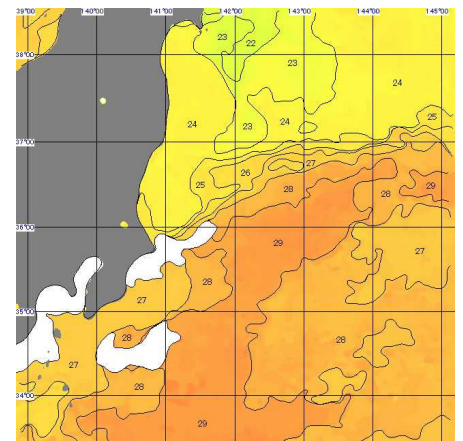
那珂湊定地水温(℃)

日	年 令 7	令 6	平年
9/26	23.4	23.4	21.6
27	23.7	23.2	21.5
28	23.3	23.6	21.4
29	23.5	22.8	21.4
30	23.2	23.0	21.3
10/1	23.1	23.1	21.2
2	22.9	23.3	21.1
平均	23.3	23.2	21.4

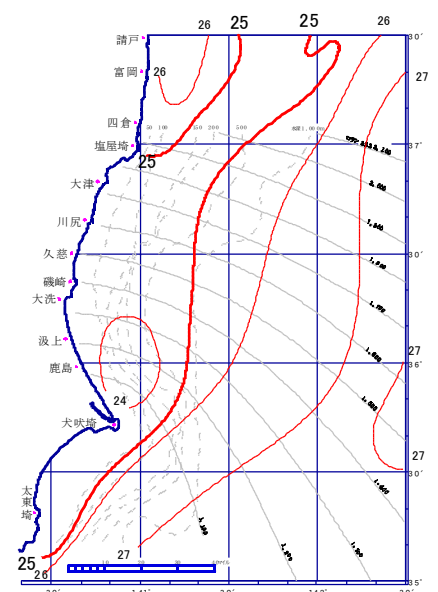
30年平均: 1991～2020年

令和7年 9月26日～10月 2日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和6年 9月27日～10月 3日

【海況図】

漁 況 の 特 徴

7 - No. 2 7

属地、単位＝四捨五入

9/25～10/1

魚 種	漁 法	組 合 名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
シラス	船 曳 網	大 津	5,945	1,245	7,399,040	26
	"	久慈浜丸小	1,272	1,166	1,483,189	6
	"	久 慈 町	1,581	1,055	1,668,329	11
	"	那 珂 湊	93	1,153	107,200	2
	"	大 洗 町	4,526	1,088	4,922,335	51
	"	は さ き	4,839	1,204	5,823,543	37
ヒラメ	小底5t以上	平 潟	1	3,690	4,797	
	固定式刺網	会 瀬	4	877	3,245	
	"	久 慈 町	1	700	980	
	"	大 洗 町	9	2,889	25,420	
	その他釣り	平 潟	17	3,201	53,771	
	"	大 津	16	1,666	27,160	
	大型定置網	会 瀬	79	1,137	90,069	
マコガレイ	小底5t以上	平 潟	2	1,010	2,020	
	固定式刺網	大 洗 町	1	5,000	6,000	
タイ類	小底5t以上	平 潟	107	573	60,982	
	"	那 珂 湊	1,234	401	495,327	
	その他釣り	平 潟	57	793	44,858	
	"	大 津	24	628	14,750	
	"	久慈浜丸小	2	100	180	
	大型定置網	会 瀬	1,397	649	906,355	
アナゴ	小底5t以上	平 潟	7	747	5,230	
アンコウ	小底5t以上	平 潟	114	367	41,642	
	"	大 津	9	344	3,198	
	"	川 尻	32	200	6,400	
	"	久 慈 町	123	184	22,554	
	"	那 珂 湊	10	760	7,600	
ホウボウ	小底5t以上	平 潟	146	723	105,326	
	"	那 珂 湊	147	358	52,655	
フグ類	小底5t以上	平 潟	6	2,660	16,492	
	"	那 珂 湊	19	760	14,055	
サワラ	大型定置網	会 瀬	9	949	8,348	
イセエビ	固定式刺網	大 津	6	3,250	19,500	
	"	会 瀬	135	4,500	607,050	
	"	久慈浜丸小	551	4,000	2,204,400	
	"	久 慈 町	99	4,000	395,600	
	"	大 洗 町	122	4,080	499,400	
スルメイカ	小底5t以上	平 潟	6,791	387	2,626,095	
	"	大 津	(192)	10,967	(山売) 2,102,316	
	"	川 尻	2,199	503	1,105,950	
	"	久 慈 町	11,691	421	4,918,430	
	"	那 珂 湊	56	647	36,470	
ヤリイカ	小底5t以上	平 潟	128	173	22,110	
	"	川 尻	5	150	810	
	"	久 慈 町	115	422	48,550	
マダコ	小底5t以上	平 潟	10	120	1,200	
	"	那 珂 湊	5	674	3,100	
マアジ	小底5t以上	平 潟	66	163	10,806	
	"	那 珂 湊	11	510	5,510	
	固定式刺網	大 洗 町	3	600	1,680	
	その他釣り	平 潟	5	10	50	
	大型定置網	会 瀬	848	197	166,704	
サバ	小底5t以上	久 慈 町	17	50	835	
	"	那 珂 湊	28	147	4,163	
	大型定置網	会 瀬	636	28	17,738	
ブリ類	小底5t以上	那 珂 湊	12	435	5,345	
	その他釣り	久 慈 町	2	100	150	
	大型定置網	会 瀬	393	424	166,525	
カツオ	その他釣り	平 潟	961	524	504,033	
	"	大 津	136	428	58,085	

注 延隻数:銘柄別隻数 大津の水揚げの一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

今週は操業船はなかった。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船 曳 網

シラス・・・大津地先から高戸地先で13
～566kg、日立地先で5～
320kg、那珂湊地先から銚田
地先で2～502kg、波崎地先
で5～302kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先から高戸地先で12
～45kgの漁獲。

◇曳 釣 り

平潟地先でヒラメ3～5kg、那珂湊地先か
ら大洗地先でヒラメ1～2kg、イナダ1～2
kg、カンパチ1kg前後、ヒラマサ2kg(1
隻)、那珂湊地先でカツオ10～50kg、シ
イラ20～50kgの漁獲。

◇建 網

鹿島地先でヒラメ、イセエビ混じり16～
109kgの漁獲。

底魚資源調査（夏季）を実施しました

水産試験場では、本県沖の主要な底魚類の資源動向を把握するため、平成15年から調査船いばらき丸(218t)により年2回（夏季、冬季）の着底トロール調査（オッタートロール）を実施しています。本調査では、本県沖の水深75～450mまでの海域、合計29定点において、15～30分間（速力3～4ノット）網を曳き、面積密度法により本県海域の現存量を推定しています。今回は令和7年7～9月に実施した夏季調査結果についてお知らせします。

1 主要な底魚類の推定現存量の推移

平成27年度から今年度までの現存量の推定結果を表1に示しました。また、参考として、県で資源評価を行っている魚種については資源水準も記しました。直近5年間の推定現存量の推移を元に、漁獲対象種の推定現存量の増減傾向（以下、増減傾向という）を判定した結果、増加傾向にあるのはアカムツ1種、横ばい傾向にあるのはヤナギムシガレイ、アオメエソ（めひかり）、ヤナギダコ（水だこ）、ユメカサゴ（のどぐろ）、など6種、減少傾向にあるのはババガレイ（なめた）、マコガレイ（本まこ）、キチジ（あかじ）、マアナゴなど9種でした。その他、漁獲対象とはなっていないトラザメ（ねこざめ）は減少傾向、テナガダラ（とうじん）は横ばい傾向でした。

表1 推定現存量の推移（夏季トロール調査）

		(単位:トン)												水準※	過去10年 平均
	魚種/年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	増減傾向		
漁獲対象種	ヤナギムシガレイ	52	127	71	64	45	27	23	28	48	13	30	横ばい	中位	50
	ババガレイ(なめた)	53	96	79	70	49	25	17	52	77	27	11	減少	中位	56
	アカガレイ(赤がれい)	5	109	29	10	1	2	1	0	1	0	0	減少	－	15
	マコガレイ(本まこ)	16	29	26	19	50	14	18	5	6	0	1	減少	低位	17
	マガレイ(沖まこ)	30	62	77	1	0	1	0	0	0	0	0	減少	低位	17
	ムシガレイ	31	135	155	92	152	115	228	143	245	95	98	減少	中位	128
	ミギガレイ(にくもち)	65	162	111	105	85	36	46	77	53	37	28	減少	－	80
	ヤナギダコ(水だこ)	250	199	217	270	111	68	77	57	244	120	14	横ばい	低位	166
	アオメエソ(めひかり)	48	312	193	260	57	110	160	191	585	463	262	横ばい	高位	222
	チゴダラ(どんこ)	156	387	242	151	157	130	223	80	227	99	131	横ばい	－	184
	マダラ	144	142	16	56	3	4	0	2	15	1	0	横ばい	－	51
	アカムツ	21	22	23	14	24	15	13	13	23	19	20	増加	高位	19
	ユメカサゴ(のどぐろ)	26	32	111	189	78	30	37	70	79	98	41	横ばい	中位	71
	キチジ(あかじ)	34	46	35	8	2	23	9	4	23	2	1	減少	高位	18
マアナゴ	34	48	31	35	19	26	20	7	23	4	4	減少	低位	27	
マトウダイ	24	70	34	5	29	17	18	20	33	7	16	減少	－	26	
参考	トラザメ(ねこざめ)	1,119	960	1,603	1,231	1,629	1,027	1,077	385	290	197	284	減少	－	1,010
	テナガダラ(とうじん)	6,559	1,126	907	1,113	2,116	340	1,210	1,937	507	157	1,186	横ばい	－	1,720

※「茨城県産重要魚種の生態と資源」(令和7年3月更新、水試ホームページ)で報告している資源水準。一は未評価。

表2 今年度と昨年度の増減傾向の比較

魚種/年度		R6傾向	R7傾向
漁獲対象種	ヤナギムシガレイ	横ばい	横ばい
	ババガレイ(なめた)	横ばい	減少
	アカガレイ(赤がれい)	減少	減少
	マコガレイ(本まこ)	減少	減少
	マガレイ(沖まこ)	横ばい	減少
	ムシガレイ	横ばい	減少
	ミギガレイ(にくもち)	横ばい	減少
	ヤナギダコ(水だこ)	増加	横ばい
	アオメエソ(めひかり)	増加	横ばい
	チゴダラ(どんこ)	横ばい	横ばい
	マダラ	横ばい	横ばい
	アカムツ	増加	増加
	ユメカサゴ(のどぐろ)	増加	横ばい
	キチジ(あかじ)	減少	減少
	マアナゴ	減少	減少
	マトウダイ	横ばい	減少
増加合計		4	1
横ばい合計		8	6
減少合計		4	9

2 今年度と昨年度調査結果の比較

今年度と昨年度（令和6年度）の調査時に行った増減傾向の判定結果の比較を表2に示しました。漁獲対象種の増減傾向を比較した結果、アカムツは昨年度同様に増加傾向でしたが、ヤナギダコ（水だこ）、アオメエソ（めひかり）、ユメカサゴ（のどぐろ）は増加傾向から横ばいになり、ババガレイ（なめた）、マガレイ（沖まこ）、ムシガレイ、ミギガレイ（にくもち）、マトウダイでは横ばいから減少傾向になりました。昨年度は一昨年度に比べて横ばいや減少を示す魚種が多くなりましたが、今年度は更に減少を示す魚種が多くなりました。

これらの増減要因を解明していくため、水産試験場では今後も資源動向のモニタリングを継続していくとともに、資源の持続的な利用に向けて調査研究を進めていきます。

3 アオメエソ（めひかり）の漁獲シミュレーション

アオメエソ（めひかり）は本県底曳網の重要魚種であり、本県では 11 月頃に体長 5 cm 程度の小型魚が加入します。翌年 7 月～翌々年 6 月にかけて 8～12cm ほどに成長した後、9 月に 13cm 前後の大型魚として漁獲されますが、10 月以降は大型魚が突然いなくなり、これは産卵回遊と推定されています（水産の窓 6-No. 13 参照）。水産試験場 TAC システムでめひかりの月別単価を集計したところ、10 月から翌年 9 月にかけて単価が上昇する傾向がみられ（図 1）、めひかりの単価は魚体が大きいほど高いことが明らかになりました。

そこで、単価の安い時期（10～1 月）に小型魚を獲り控え、高い時期（2～5 月）に大型魚を漁獲した場合の水揚高をシミュレーションしました。その結果、10～1 月の漁獲量を 10%削減することで水揚金額は 277～1,521 万円増加、20%削減することで 554～3,019 万円増加、30%削減することで 831～4,656 万円増加すると推定されました（図 2）。今後は、小型魚の漁獲を控える方策の検討など、引き続きめひかり資源の有効活用に向けて調査研究を進めていきます。

（定着性資源部 多賀・外山・水谷・西）

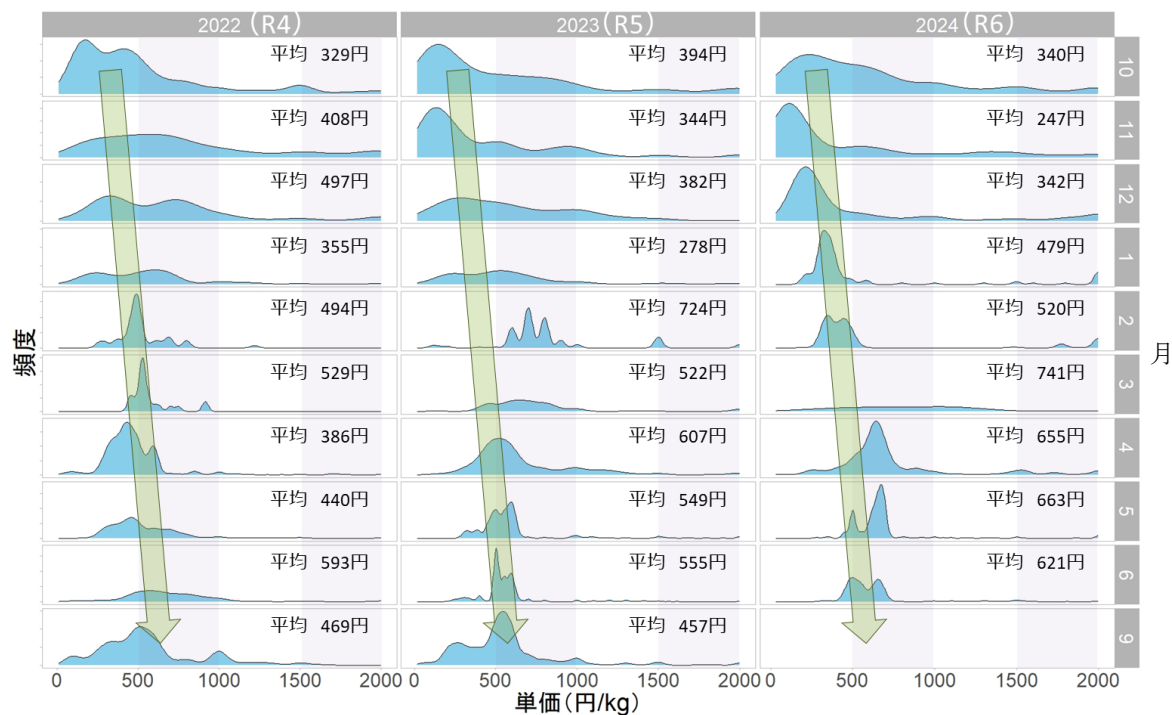


図 1 本県におけるアオメエソの月別単価の推移

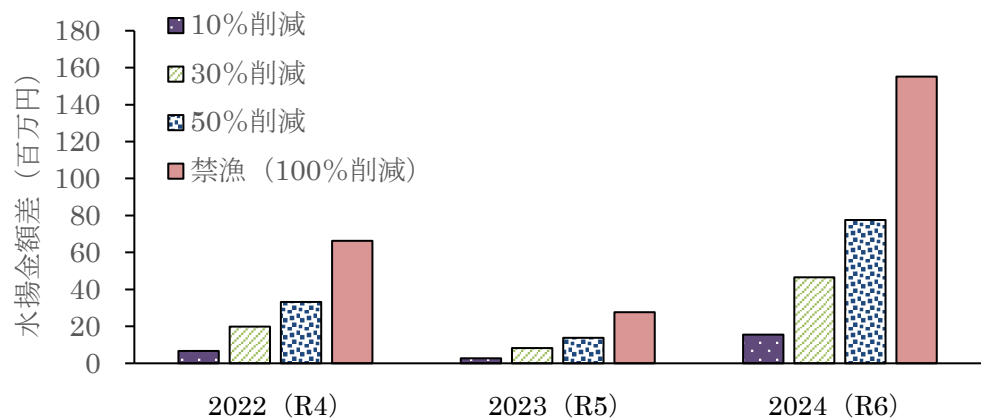


図 2 10～1 月の漁獲尾数を削減し、2～5 月に上乗せした場合の水揚金額差

【次回予告】

令和 7 年 10 月 10 日発行の水産の窓は「令和 7 年 10 月の海況と今後の予測」を予定しています。